

輸入不利 輸出は追い風

目指せ！
お金の達人




⑮ 円安って何？ 為替が生活に与える影響

富山県金融広報委員会
金融広報アドバイザー
坂野上 満

今年3月ごろまでは1ドル＝110円台で取引されていた外国為替相場ですが、4月以降、円が売られ続け、この秋には三十数年ぶりというような記録的な円安となっています。今回は、円高や円安とは何なのか、これらが私たちの生活にどのような影響を及ぼすのか、説明してきたいと思います。

Q いくらから円安といくらから円高なの？

A これは「標高何メートル以上が高山で、何メートル以下が低い山」と話せばなるのと同じで、「最近の為替レートに比べて円が高くなったのか安くなったのか」ということです。絶対的な数値に関わるものではなく、傾向の話なので「いくらから」「どこから」とはありせん。

Q 円安って何？

A 為替レートが1ドル110円から1ドル150円になった場合、これは円高になっているのでしょうか？ それとも円安になっているのでしょうか？

これは、1ドルを110円で買うことができていたのに150円出さないと買えなくなったことを意味します。つまり、円の価値が下がったことになるので、円安とい

うこととなります。

1ドル110円が150円になったと聞くと、円の数値が大きくなっているため、円高と勘違いされる方もいらっしゃいますが、「1ドル買うのにいくら必要か」という指標なので、数値が小さくなれば

円高、大きくなれば円安だということをしてしっかり押さえておきましょう。

Q 為替レートは一体誰が決めているの？

A 為替レートは株式の価格などと同様、取引市場において売り手と買い手がオークションのような形式で取引が行われた際の取引価格によって形成されます。つまり、誰かが「決める」ものではなく、取引の結果「決まる」といえます。従って、円がたっくさん売りに出され、ドルの買い

Q 今の円安の要因は？

A 円安の原因はさまざまですが、今の円安の原因は、ドルの金利上昇が最も大きなものとして挙げられるでしょう。今の円はゼロ金利政策に象徴されるようにに利息がほとんど付きません。これに対し、ドルはアメリカの景気過熱対策により金利が引き上げられています。つまり、利息が付かない通貨が敬遠され、利息が付く通貨に資金が流れた結果、ドルが高くなっているということです。

Q 円安になると日本の国民はみんな損をするの？

A いえ、そうではありません。石油の取引はドルで決済されるため、日本が石油を買うときは円をドルに換えて代金を支払うこととなります。この時、円安だと110円で1ドルが買えていたものが150円出さないと買えなくなるわけですから、たくさん円が必要になってきます。つまり、ドルで輸入するものについては円安だと不利になります。これが現在、エネルギーや食料などの輸入コストアップとなり、私たちの生活を圧迫する原因となっているのです。

一方、ドルで外国に売るものについては、この逆のことが起こります。ドルで輸出するものについては円安だと有利になりますから、輸出企業にとっては追い風となります。

(税理士)

